

第11回青森ねぶた祭検討特別委員会会議概要

日 時 平成18年11月2日(木) 10時00分～12時15分

場 所 ラ・プラス青い森 4F ル・シエル

出席委員 蝦名委員長、佐藤副委員長、對馬委員、千葉委員、柳谷委員、奈良委員、澤田委員、
采田委員

オブザーバー ねぶた運行団体協議会榎引事務局長

事務局 市澤田部長、会議所高木地域振興部次長、協会山田事務局長

欠席委員 武田委員、若井委員、勝又委員、太田委員

○委員長挨拶

奨励機能についてのワーキングを5回開催し、委員会は3ヶ月ぶりの開催となった。その間ねぶた祭が開催され、課題が残ったが皆様のお陰で概ね順調に終了できた。

○会議概要

1. 奨励機能についての報告について

ワーキングで協議された奨励機能について對馬座長より説明の後、内容について審議した。

あて職について

- ・あて職にこだわらない人選とあるが、現在のメンバーは一旦解散(辞任)となるのか。抽象的で文章として判りにくい。
- ・マスコミ関係・主催者の役職にこだわらない人選と言うこと。移動があっても人についてもいいということ。解散ではない。
- ・必ずしも必要な項目ではない。誤解を与えるようであれば、なくても良い。
- ・ねぶたに精通していなくても各地の祭りを見ている新鮮な目も必要ではないか。
- ・審査委員会への組織変更時に委員全体の構成を見直せばいいのではないか。
- ・構成に主催団体や報道関係者と明記しておく必要があるのか。
- ・やりたくないのであれば無理に審査員を受けなくても良い。
- ・奨励要綱の構成に〇〇(造形美術・伝統民俗など)に精通した人と加える。ねぶたに精通した者だけではないという意味にする。

↓

委員長、副委員長、座長と相談の上、次回の委員会に修正案を出し、再度協議する

委員の選任について

「奨励委員長は実行委員長が指名、副委員長、委員は奨励委員長が指名し、実行委員会の承認を得る」（奨励要綱より）

- ・委員長色の強い委員会になってしまうのではないかと。メンバー全員実行委員長の指名ではどうか。
- ・指名委員会みたいなのがあってもいいのではないかと。
- ・最後は実行委員会の承認を得るので良いのではないかと。
- ・他の委員会も同じ規約となっている。

※（委員長等の選任）

第11条 各委員会の委員長の選任は、実行委員長の指名とする。

2. 各委員会の副委員長及び委員は、委員長が推薦し実行委員会の承認を得ることとする。

↓

いくつか事務局案を作り、次回再度協議する

メンバー数について

- ・25名になっているが、メンバーにレベルの違いすぎる人がいるのは妥当なのか。レベルを揃える必要はないのか。

↓

今、議論することではない。芸術関係者を増やすということで現状は良い

全体について

- ・現状通りとあるが、現状が素晴らしく良いと言う訳ではなく、当面現状通りというニュアンスを入れて欲しい。
- ・ねぶた関係者だけが議論している。これがすべてではない。

2. 今後のタイムスケジュールについて

平成19年3月までにはまとめたい。

○次回委員会開催について

日時 平成18年12月2日（土） 午前10時～13時00分